

色 相 環

～167人の色を生かそう～



No. 12

横浜市立領家中学校

第 1 学 年

令和 5 年 2 月 2 4 日



もうすぐ春、です

冬の寒さと春の暖かさを行きつ戻りつしながら、季節が動いていきます。3学期はなぜか時の流れがことさら早く感じられます。「往く1月、逃げる2月、去る3月」とはよく言ったものです。

学年末テストが終わりました。今まででいちばん勉強した人、いつもより早めにと意識して準備できた人、なかなか思うように準備が進まなかった人…、とさまざまだったことでしょう。しかしながら、大切なのは試験のあと。点数に一喜一憂しただけで、「やりっぱなし」になってはいませんか。今の自分の力をしっかり分析して課題をクリアにすることが大切です。今年度のうちに押さえておくべきことはしっかりとやりきっておきましょう。進級前の大切な準備期間ですからね。

1年生の今のクラスで過ごせる時間もあと少しです。2年生となり後輩を迎える春もすぐそこに来ていますね。いよいよ中学校生活はじめの1年の総まとめ。1日1日を大切に、よいしめくくりができますように。



ローテーション道徳

9月中旬から学年職員がローテーションで実施してきた道徳の授業を紹介します。

靴 ～新しい道徳P93～98～
C-14 家族愛、家庭生活の充実 B-6 思いやり、感謝
外靴の紛失で親に心配をかけまいとする主人公と、どんなことがあっても主人公の味方として支えようとする親の心情を考え、家族の深い愛情に気づくとともに、家族の一員として果たすべき役割や責任を理解し、より充実した家庭生活を築こうとする意欲や態度を育てたい。
風を感じて 一村上清加のチャレンジ ～新しい道徳P111～114～
A-4 希望と勇気、克己と強い意志 D-22 よりよく生きる喜び
困難に直面しても、目標の達成に向けて前向きに挑戦し続ける村上清加選手の生き方について考えることを通して、目標に向けて強い意志を持ち、前向きに努力していこうとすることの大切さを考える。
朝市の「ごみ箱をもっと増やして」 ～新しい道徳P71～73～
C-10 遵法精神、公德心
私たちは、さまざまな集団に属しながら生活を送っています。社会生活の中で、ときに社会の秩序を乱すことがあるが、これは自分本位の考え方や、公德心の欠如によるところが多いように感じます。公德心は、社会の中で守るべき正しい行いを大切にしようとする気持ちです。今日は、街中のごみ箱の問題を通して、生徒一人ひとりが社会のルールや決まりに目を向け、互いに安心して生活ができる、よりよい社会を実現するために大切なことは何か、考えてみましょう。
自分の性格が大嫌い! ～新しい道徳P16～19～
A-3 向上心、個性の伸長 B-9 相互理解、寛容
「欠点なんか人それぞれ! もっと堂々としていれば、いーんだよ!!」 自分の性格を直したいと思っ ていても、実際にどうしていけば(考えれば)よいのだろうか。リフレーミングを実際にやってみながら、自分の持っているよさや個性の発見に努め、それを肯定的に捉えられるように考えていきましょう。
席替え ～新しい道徳P100～103～
C-11 公正・公平・社会正義 B-8 友情・信頼
主人公が席替えのやり直しを提案した理由について話し合い、公正さを重んじることの大切さを理解し、厚生、公平な行動を心がけようとする意欲を育てます。 「公正・公平なクラスを実現するために、どのようなことに気をつけたらよいだろう。」という問いを、自分ごととして考えることが大切だと思います。

「いのち」って何だろう。いのちを意識するのはどんなとき？「いのち」から連想する言葉は？なぜ、いのちは自分の勝手にはならないのだろう。輝かしいことだけではなく、ときにつらいことも内に秘める「いのち」。それでもなお、今、自分がここに生きていることの奇跡を感じながら「いのちを大切にすると」とはどのように生きることかを考えます。

ティーンエイジャーになった(なる)みなさんへ



中学生になって最初に迎える誕生日は、生まれてから13回目のものになりますね。英語では13歳から19歳の年齢の人たちをティーンエイジャー(Teenager)と呼びます。人生においてとても特別で大切な、素晴らしい年代、ティーンエイジャーへの仲間入り、おめでとうございます。

さて、皆さんはもちろん覚えていないと思いますが、皆さんの命がお母さんのお腹に宿ったとき、最初はたった1ミリほどの大きさだったのですよ。お腹の中にいる約9カ月間、少しずつ少しずつ大きくなって、身体の機能ができて、「時」がきて、この世に誕生したのです。

赤ちゃんが誕生する「時」って、お母さんには決められないんですよ。私が娘を産んだときは、「予定日」をだいぶ過ぎて生まれる兆しがなくて、私のお腹には出口がないんじゃないか、って不安になって涙が出たほどです。お医者さんはいつも「大丈夫ですよ。待っててください。」っておっしゃっていました。赤ちゃんの身体の準備ができて、「時」が来て、赤ちゃんは誕生するのです。

人の成長の速度って、一人ひとり本当に違って、「うちの子はみんなと比べて身体が小さいけど、大丈夫かな」「うちの子は身体が大きすぎて心配」「なかなか歩きださないけれど、本当に歩けるようになるのかな」などなど…大人はいつも心配になったり不安になったりするものです。でも、他の子と比べて速かったり遅かったり、ということはあっても、どの子もそれぞれのペースで身体と心はちゃんと成長していて、「時」が来れば、ちゃんと次のステップへと動き出すのです。

さて、皆さん自身のことを考えてみましょう。心も、身体も、実に大きく変化し、成長してきましたね。特にこの数年の変化は、本当に大きなものだと思います。赤ちゃん・子どもの自分から、大人の自分へ。大きく変化していくただ中に、今の皆さんはいるのです。自分の成長を誇らしく思えることもあれば、いろいろな不安や葛藤を抱えることもあるでしょう。ほかの人と自分を比べて、成長の早

さ遅さやその度合いについて心配になることもあるかもしれません。でも大丈夫。誰かと比べたりする必要はありません。どの人にも、それぞれのペースや「その人らしさ」があって、どの人の心も身体も、ちゃんと成長していくのです。

だから安心して自分の「心」と「身体」「命」「生きること」を大切にしてください。それを本気でできる人はきっと、人の「心」や「身体」「命」「生きること」も大切にできると思うのです。皆さんには是非、そんな素敵な大人になってほしいと願っています。



Yes, you are beautiful.



数年前、私の娘と息子が高校生と中学生だった頃のことです。親としての気がかりの種は尽きることなく…。そんな私たち親子をよく知る親しい友人が私に言うてくれました。“You have two beautiful children. That’s a great thing.” …へえ。beautiful ねえ。美しいもの、素晴らしいものを指す言葉だけれど、自分の子どもをそんなふうに形容するなんていうアイディアはなかったなあ。

娘と息子の顔を交互に思い浮かべながら、beautiful なんだね、と素直に思ってみると、何だかとても静かで平和な気持ちになりました。家に帰ってから二人にも話してみたところ…息子なんて「キモイ」とかいう反応をすと思ったら「イエ～イ！」と笑顔を返してくれました。「俺は母さんと違って若いから。」なんて言いながら。娘も「へえ～」と。beautiful。ほっと穏やかな時間が流れました。

大人である私は、あなたという存在の美しさ、素晴らしさをどれだけ伝えられているでしょうか。